

(第2号様式)

糸満第 2033 号
令和8年 3月 19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立糸満高等学校
校長 山城 芳則
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月17日 (木)16:00	場所	県立糸満高等学校学習室	出席 状況	学校評議員4名全員出席
第2回	日時	令和7年12月15日 (月)16:00	場所	県立糸満高等学校学習室	出席 状況	学校評議員2名出席2名委任
第3回	日時	令和8年3月18日 (水)16:00	場所	県立糸満高等学校学習室	出席 状況	学校評議員2名出席2名委任

2 学校評議員に求めた事項

- ・本校に対する要望
- ・本校の取組に対する客観的評価
- ・今後の改善に向けた助言

3 学校評議員の意見

- ・自転車通学者に対して、交通ルールを遵守するように指導して欲しい。
- ・1,2年で進路希望を取っているのので、生徒達が希望する進路に進学できるように指導に取り組んで欲しい。
- ・生活指導部でSNSに関する指導に取り組んでいるのは素晴らしい。加害者にならないように指導して欲しい。
- ・韓国語に興味がある生徒達に韓国語の講座を実施したい。
- ・高校入学者選抜の定員割れを改善するための取り組みとして、中学校に向けたアピールの必要性。
- ・国公立大学合格者が増えるなど、実績を伸ばしていて嬉しく思う。

4 学校運営に反映した事項

- ・全校生徒に対して、生徒指導部を中心に交通ルールを遵守するよう学年集会で呼びかける他、外部講師を招聘した交通安全講習会等、交通事故の抑止に取り組んだ。
- ・修学旅行期間中、修学旅行に参加しない生徒を対象に韓国語の講座の実施及び韓国のイザベル高等学校の生徒との交流を実施した。
- ・1,2年生を対象に外部講師(司法書士)を招聘してのSNS等に関する講演会を実施した。

5 課題その他

- ・高校入学者選抜の定員割れを改善するための取組。
- ・生徒の自主的・主体的な学習を支援する取組。
- ・生徒が学校に楽しく登校できる安全安心な環境・居場所作りへの取組。
- ・進路決定率の向上に向けた、学力の向上や自主学習の習慣化のための取組。